題材 「水産業」 ○○時間中の第2時

(1) 学習のねらい

カツオとタラの漁獲量の上位 10 県を色で塗り、魚によって水揚げされる場所の傾向が違うことに気が付いた子どもたちが、タラとカツオの生息場所、身について、産卵場所、適正温度について ipad で調べることを通して、カツオとタラの生態には大きな違いがあることに気づき、これからの授業の水産業のことにについて考えていくようにすることができる。

(2) 本時の学習材

タラとカツオの生態をipadで調べる

- 同じ魚なのに水揚げ量が、タラは日本海側が多い傾向、カツオは全体的には太平洋側が多い傾向があることに気づいた子どもたちは、それがどうしてかということを考える際に、そもそもタラとカツオの生態について知らないと考え始めるだろう。そのような意識を捉え調べ学習に入る。
- 生息場所、赤身白身、産卵場所、魚の環境適正温度はどのくらいということ調べることで、子どもたちが、どうして魚によってこんなにも獲れる場所が違うのかを考えられる知識を得ることができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 復習をする	<ul style="list-style-type: none"> ・タラは日本海側 ・カツオは太平洋側 	10'	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時を考えるうえで、前時の内容がかかわってくるので PowerPoint を活用し、グラフなどを見せながら復習をする ・ タラは鱈腹と当て字をされるくらいなんでも食べて大食いなんだよ
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 学習問題 タラとカツオのこと知っている？ </div> 2 タラとカツオのことについて考えてみる	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラクトンを食べると思う ・ エビやカニを食べると思う 		
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 学習課題 タラとカツオの生態を比較して調べよう </div>		25'	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時を調べる学習課題を提示し終わってから出す ○ 調べ方として、生態という言葉を使い調べると出てくることを伝える ・ 机間指導
	3 タラとカツオの生態について調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・ タラとマダラって何が違うの？ ・ 赤身と白身の違いはチョコちゃんに叱られるでやってた ・ 何でも食べるタラと、プラクトンやイワシなどをカツオは食べるんだ ・ カツオって、日本から南下した比較的暖かい地域で生まれるんだ ・ タラは日本の北部の栄養が多い地域で生まれ鱈腹食べ物を食べて育つんだ ・ タラって深海魚なんだ 		
終末	3 わかったことから黒板に書いてもらい比較しながらまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ タラって魚に雪って書くくらい寒い場所に住んでいるんだ ・ タラとカツオって似たようなものも食べている ○ 住んでいる場所や適性温度と水揚げ量には関係がありそうだよ 	10'	<ul style="list-style-type: none"> ・ カツオとタラの比較、また、前時の情報とも比較しながらまとめをおこなう
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 評価 タラとカツオを比較し、共通点や差異点がわかるそして、その知識を次回以降につなげることができる </div>